

社団法人 東洋音楽学会 **会 報** 第64号

発行 (社) 東洋音楽学会〔事務所〕〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

TEL& FAX 03-3832-5152 E-mail LEN03210@nifty.com

ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/tog/>

目 次

第 56 回大会のご案内	1	会費納入のお願い	3
第 56 回大会の研究発表募集	1	事務所移転のお知らせ	3
第 22 回田邊尚雄賞受賞者発表	2	会員異動	3
第 71 回通常理事会議決事項のお知らせ	2	図書・資料等の受贈	5
岸辺成雄名誉会長のご逝去	2	新刊書籍	5
ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ	2	新発売視聴覚資料	8
小塩さとみ氏が第 18 回清栄会奨励賞を受賞	2	訂正のお知らせ	8
日本学術会議芸研連シンポジウムのお知らせ	3	編集後記	8
会員名簿の発行年について	3		

第 5 6 回大会のご案内

(社) 東洋音楽学会は、平成 17 年度の大会を下記の通り開催いたします。どうぞふるってご参加ください。

- 日時：平成 17 年 10 月 1 日 (土) 2 日 (日)
- 会場：札幌大谷短期大学
(〒065-8567 札幌市東区 16 条東 9 丁目 電話:011-747-1651)
〔交通：地下鉄東豊線・東区役所駅より徒歩 7 分〕
- 日程 第 1 日：10 月 1 日 (土)
 - ・通常理事会 10:00 - 12:00
 - ・受付 13:00 -
 - ・公開講演会 14:00 - 16:00及び特別公演 (内容未定)
 - ・第 22 回田邊尚雄賞授賞式 16:00 - 16:30
 - ・懇親会 17:30 - 19:30第 2 日：10 月 2 日 (日)
 - ・研究発表 10:00 - 12:00
 - ・通常総会 13:00 - 14:00
 - ・フォーラム 14:00 - 16:30
- 会費：大会参加費 3,000 円 (学生 2,000 円)
懇親会費 4,000 円 (学生 3,000 円)

* 上記時間は予定ですので、多少前後することがあります。

第 5 6 回大会の研究発表募集

第 56 回大会の研究発表会における口頭発表を下記の要領で募集いたします。多彩な発表を期待します。

- 発表時間：20 分 + 質疑 10 分
- 申込方法：題目、要旨 (1200 字程度)、氏名、連絡先 (住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス等)、使用希望機材、その他必要事項を明記の上、書面で大会事務局までお申し込みください。電子メールで申し込む場合は以下のアドレス (tanimoto@yahoocorp.jp) まで送信下さい。
- 申込締切：平成 17 年 6 月 30 日 (木)
- 申込宛先 (大会事務局)：
〒060-0001
札幌市中央区北 1 条西 7 丁目プレスト 1・7
札幌植物園前郵便局留
東洋音楽学会第 56 回大会実行委員会事務局
委員会代表：谷本一之
電話：011-271-4171 FAX：011-271-4181

大会実行委員：遠藤徹、小塩さとみ、甲地理恵、
谷本一之 (委員長)、樋口昭、茂手木潔子

第 2 回田邊尚雄賞受賞者発表

第 22 回田邊尚雄賞は、以下のように決定致しました。

[受賞者・受賞対象]

山口 修『応用音楽学と民族音楽学』

(放送大学教育振興会、2004 年 3 月発行)

金城 厚『沖縄音楽の構造；歌詞のリズムと楽式の理論』

(第一書房、2004 年 3 月発行)

[選考経過] 今回推薦された業績 10 件について、2 月 27 日に開かれた第 22 回田邊尚雄賞選考委員会で慎重に審議し、上記の 2 件が選ばれました。授賞式は本学会第 56 回大会で行われる予定です。理事会で承認された受賞理由は以下の通りです。

[受賞理由]

『応用音楽学と民族音楽学』は、応用音楽学という新しい分野を開拓し、既存の分野との関連を明らかにした画期的な業績であると認められた。

一方、『沖縄音楽の構造；歌詞のリズムと楽式の理論』は、沖縄音楽の構造をリズムと楽式から総合的に理論化したもので、新しい研究モデルを構築したことが高く評価された。

第 7 1 回通常理事会議決事項のお知らせ

2005 年 4 月 3 日 (日) に東京芸術大学音楽学部大会議室で第 71 回通常理事会が開催されました。そこで審議された議事と主な議決事項をお知らせいたします。

(1) 新入会員承認の件

前回理事会 (2004 年 10 月 23 日) 以降、2005 年 4 月 3 日までに申込のあった正会員 11 名、学生会員 3 名の入会が正式に承認されました。

(2) 平成 17 年度研究発表大会および公開講演会の件

本号の関連記事をご覧ください。

(3) 第 22 回田邊尚雄賞受賞者決定の件

本号の関連記事をご覧ください。

(4) 第 23 回「田邊尚雄賞」選考委員選任の件

薦田治子、櫻井哲男、徳丸吉彦 (以上留任)、青柳隆志、塚原康子 (以上新任) の 5 氏が選任されました。

(5) 事務所移転の件

本号の関連記事をご覧ください。

(6) 将来検討委員会発足の件

委員会の発足および塚田健一、久保田敏子、薦田治子、田井

竜一、高桑いづみの 5 氏への委員委嘱が承認されました。

岸辺成雄名誉会長のご逝去

すでに新聞その他で周知のことと思いますが、本学会名誉会長の岸辺成雄先生が去る 1 月 4 日 92 歳で逝去されました。2 月 13 日には東京帝国ホテルにおいて先生との「お別れの会」が催されました。ここに謹んで故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。なお、『東洋音楽研究』第 70 号には岸辺名誉会長を追悼する特集記事が掲載されますので、ご覧下さい。

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

(1) 第 38 回 ICTM 世界大会の開催

来る 8 月 3 日から 10 日までイギリスのシェフィールドで、第 38 回 ICTM 世界大会が開催されます。研究発表・パネルディスカッション合わせて、80 を越える分科会が設けられ、発表総数約 290 に及び盛大な大会になります。夜には映画の上映、アフリカン・ポップス、ジュジュの演奏会などさまざまな楽しい催しも企画されています。また中日の 8 月 7 日にはピーク国立公園への一日ツアーもあります。この機会にぜひ世界大会に参加し、国際学会の楽しさを味わって下さい。ICTM ウェブサイト (<http://www.ethnomusic.ucla.edu/ictm>) から参加登録をすることができます。また ICTM 会員の方は、2004 年 10 月発行の ICTM 会報 (Bulletin) 第 105 号に参加登録申込書が入っていますので、ご利用下さい。

(2) ICTM 役員選挙

シェフィールドでの世界大会会期中に行われる第 37 回 ICTM 通常総会で役員の改選が行われます。任期満了に伴って改選される役員は会長、副会長 2 名、通常理事 4 名です。またそれに先だって選挙が行われます。ICTM 会員の方々には、すでに会報第 106 号 (2005 年 4 月発行) とともに投票用紙が郵送されています。各候補者氏名と略歴は会報第 106 号に掲載されています。投票の締め切りは 2005 年 8 月 4 日 (木) 17 時 (GMT) ですので、投票意志のある方は、期限までに同封の封筒を使用して投票用紙をシェフィールド大会事務局までお送り下さい。 (塚田健一)

小塩さとみ氏が第 18 回清栄会奨励賞を受賞

第 18 回 (平成 16 年度) 清栄会奨励賞が、会員の小塩さとみ氏に授与されました。三味線演奏時の左手の動きから長唄の旋律生成の仕組みを明らかにした成果が評価されたことに

よるものです。授賞式は国立劇場本館2階第6会議室にて、4月22日に行われました。

日本学術会議芸研連

シンポジウムのお知らせ

芸研連(芸術学研究連絡委員会)では、今年度のシンポジウムを下記の通り開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしています。なお、今回をもって芸研連シンポジウムは最終回となります。

日本学術会議第19期芸術学研究連絡委員会シンポジウム

テーマ「アート之力 文化変容の可能性」

*一般来聴歓迎

開会挨拶 佐々木健一(芸術学研究連絡委員会委員長、
日本大学文理学部教授)

司会 篠原資明(美学会/京都大学大学院
人間・環境学研究科教授)

パネリスト・発表題目(仮題)

本江邦夫(美術史学会/多摩美術大学美術学部教授)

「自然にたいして鏡をかざす」

井上貴子(日本音楽学会・東洋音楽学会/

大東文化大学国際関係学部助教授)

「植民地支配と文化変容の力学

近代インドにおける古典音楽の事例から」

國枝タカ子(比較舞踊学会/茨城大学教育学部助教授)

「アートの知的財産戦略と地域芸能・伝統舞踊の間に
生まれる文化の衝突」

鈴木みどり(映像学会/立命館大学産業社会学部教授)

「メディア社会の日常を生きる市民の

映像メディア活動 子ども、女性、シニア市民」

藤田治彦(意匠学会/大阪大学大学院文学研究科教授)

「デザインの力」

総括(閉会の辞)

岩城見一(芸術学研究連絡委員会幹事/京都大学大学院
文学研究科教授)

*主催: 芸術学研究連絡委員会

*日時: 平成17年6月25日(土)13時~17時

*会場: 京都大学(文学研究科新館第三講義室)

が、近年の厳しい財政状況などに鑑みて、4年に一度の発行に変更します。次回の会員名簿の発行は、2007年になります。
会費納入のお願い

2004年度(2004年9月1日~2005年8月31日)までの学会費を未納の方に、請求書と振替用紙を同封いたしました。請求書で未納金額をお確かめのうえ、さっそく払い込みください。会費の滞納がある場合、その年度の機関誌はお送りできません。

なお、本紙と行き違いに納入がありました場合は、どうぞご容赦ください。

事務所移転のお知らせ

長年の懸案であった事務所移転が5月初めに実現しました。新住所は以下の通りです。

新住所: 〒110-0005

東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

新FAX電話: 03-3832-5152

(FAXと電話は同じ番号になります)

メール・アドレス: LEN03210@nifty.com(従来どおり)

当面は旧住所よりの転送、旧電話番号での新番号案内をいたします。また学会HPに、新連絡先が記載されております。お間違いのないよう、よろしくご願ひいたします。

JR御徒町、JR秋葉原、地下鉄銀座線上野広小路、日比谷線仲御徒町などから近く、交通至便です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2004年12月~2005年4月、訂正箇所は下線部)

会員名簿の発行年について

従来、会員名簿を2年に一度、奇数年に発行してきました

新刊書籍

住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡
ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用
はがき、またはファクス、E-mail 等でも結構です)

改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添
えください。(複数表記される場合、どちらを主な表
記にするのか等)

事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等
がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2004年12月~2005年4月、到着順)

- 『浜松市楽器博物館だより』No.37,38,39
浜松市楽器博物館
- 『楽道』12,1,2,3,4月号
正派邦楽会
- 『地域研究』vol.6 No.2
国立民族学博物館地域研究企画交流センター
- 『白い国の詩』12,1,2,3,4月号
東北電力(株)
- 『Bulletin of Vietnamese Institute for Musicology』
No.13
Vietnamese Institute for Musicology
- 『日本音楽学会関東支部通信』第63号
日本音楽学会関東支部
- 『東方學會報』No.87
(財)東方学会
- 『植民地下の台湾における学校唱歌教育の成立と展開』
劉麟玉著 雄山閣
- 『伝統芸能復興 ハンガリーのダンスハウス運動』
横井雅子著 アーツアンドクラフツ
- 『演劇研究センター紀要』IV,V
早稲田大学21世紀COEプログラム
- 『ぎふ民俗音楽』第62,63号
岐阜県民俗音楽学会
- 『研究紀要』XXV
エリザベト音楽大学
- 『民俗芸能研究』第38号
民俗芸能学会
- 『音楽学』第50巻2号
日本音楽学会
- 『アイヌ民族文化研究センターだより』No.22
研究紀要』第11号
- 『ピリカ会関係資料の調査研究 北海道立アイヌ民族
文化研究センター調査研究報告書1』
- 『ボン カンピソシ』10 総集編(CD-ROM)
北海道立アイヌ民族文化研究センター
- 『演劇映像』第46号
早稲田大学演劇映像学会

- 『Altruism in new religious movements The Jesus Army and the
Friends of the Western Buddhist Order in Britain』
稲場圭信著、大学教育出版、3800円
- 『CDカタログ 2005年版』2003/2004 イヤーブック 音楽出
版社、4,000円
- 『NHK スペシャル新シルクロード 1 楼蘭 トルファン』
NHK「新シルクロード」プロジェクト編著、日本放送出版協
会、1,800円
- 『The Single Tone-A Personal Journey into Shakuhachi
Music』(『一音成仏、尺八音楽を通しての個人的探求』)ク
リストファー・遙盟・ブレイズデル著、Printed Matter Press
(Tokyo)、1,575円(店頭販売・紀伊国屋書店新宿店)
<http://www.yohmei.com>
- 『人類学の歴史と理論』アラン・バーナード著、明石書店、
4,400円
- 『一遍上人語録』一遍述、一穂社/紀伊国屋書店、2,400円
- 『祈る人びと』藤本満著、いのちのことは社、2,200円
- 『伊波普猷 国家を超えた思想』西銘圭蔵著、ウインかもが
わ/かもがわ出版、1,000円
- 『歌と戦争 みんなが軍歌をうたっていた』桜本富雄著、ア
テネ書房、1,800円
- 『歌の祭り』ル・クレジオ著、管啓次郎訳、岩波書店、3,360
円
- 『越後の鬼』磯部定治著、新潟日報事業社、1,400円
- 『江戸が息づく古典落語50席』柳家権太楼著、PHP研究所、
514円
- 『江戸の冠婚葬祭』中江克己著、潮出版社、1300円
- 『おどりの扉 歌舞伎舞踊が反転・発見する』村尚也著、日本
舞踊社、3,000円
- 『鬼の系譜』佐藤秀治著、文芸社、1,800円
- 『音楽・研究・人生 音楽と言語をめぐる仮想対話』ジャン
ジャック・ナティエ著、添田里子訳、春秋社、2,940円
- 『音楽の教え方 音楽的な音楽教育のために』キース・スワ
ニック著、音楽之友社、2,500円
- 『音楽のトリヴィア』ポール・サリヴァン著、ストレンジ・
デイズ、933円
- 『音楽表現の教育学 音で思考する音楽科教育』田畑八郎著、
ケイ・エム・ピー、2,500円
- 『音楽未来形 デジタル時代の音楽文化のゆくえ』増田聡、
谷口文和著、洋泉社、1,900円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第1巻 1909~1915 明治
42年~大正4年』日高昭二監修、ゆまに書房、15,000円

- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第2巻 1916~1921 大正5年~大正10年』日高昭二監修、ゆまに書房、15,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第3巻 1922 大正11年』日高昭二監修、ゆまに書房、19,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第4巻 1923 大正12年』日高昭二監修、ゆまに書房、15,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第5巻 1924 大正13年』日高昭二監修、ゆまに書房、22,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第6巻 1925~1926 大正14年~大正15年』日高昭二監修、ゆまに書房、19,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第7巻 1927~1929 昭和2年~昭和4年』日高昭二監修、ゆまに書房、17,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第8巻 1930~1940 昭和5年~昭和15年』日高昭二監修、ゆまに書房、12,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第9巻 補遺篇』日高昭二監修、ゆまに書房、17,000円
- 『海外新興芸術論叢書 新聞・雑誌篇第10巻 補遺篇 解説』日高昭二監修、ゆまに書房、9,000円
- 『加賀・能登の民俗 小倉学著作集 第1巻 神社と祭り』小倉学著、瑞木書房 / 慶友社、11,667円
- 『加賀・能登の民俗 小倉学著作集 第2巻 民俗芸能』小倉学著、瑞木書房 / 慶友社、11,667円
- 『加賀・能登の民俗 小倉学著作集 第3巻 信仰と民俗』小倉学著、瑞木書房 / 慶友社、11,666円
- 『風と音のかよう道 新・地球音楽紀行』水野信男著、音楽之友社、1,890円
- 『楽器の絵本ギター』ベルトルト・クロス文、河合楽器製作所・出版部、1,600円
- 『楽器の絵本リコーダー』アンケ・ベーデカー文、河合楽器製作所・出版部、1,600円
- 『学校音楽教育とヘルバルト主義 明治期における唱歌教材の構成理念にみる影響を中心に』杉田政夫著、風間書房、9,500円
- 『桂米朝集成 第3巻 上方文化』桂米朝著、岩波書店、3,400円
- 『桂米朝集成 4 上方文化』桂米朝著、豊田善敬編、高木正裕編、岩波書店、3,570円
- 『桂米朝集成 4 師・友・門人』桂米朝著、豊田善敬編、高木正裕編、岩波書店、3,570円
- 淡交ムック『歌舞伎 家・人・芸』織田紘二監修、淡交社、2,625円
- 『歌舞伎 研究と批評 32 団菊没後百年』2,447円
- 『かぶき 様式と伝承』郡司正勝著、筑摩書房、1,500円
- 『歌舞伎の話』戸板康二著、講談社学術文庫、882円
研究叢書 331 『上方能楽史の研究』宮本圭造著、和泉書院、15,750円
- 『カムイコタン祭りに』相川公司作、新風舎、1,400円(児童よみもの)
- 『京の舞 木村夫美和のころ』木村夫美著、大空社、5,238円
- 『近代歌舞伎年表京都篇 別巻 昭和十八年~昭和二十二年 補遺・索引』国立劇場調査養成部調査資料課近代歌舞伎年表編纂室編、八木書店、19,000円
- 『クマ祭りの起源』天野哲也著、雄山閣、2,940円
- 『小唄の周辺』星野栄志著、演劇出版社、1143円
- 『古代音楽の世界』荻美津夫著、高志書院、2,300円
- 『古代文学と琉球説話』丸山顕徳著、三弥井書店、6,500円
- 『ザ・尺八 演奏習得の手引き』CD、練習曲集付き、クリストファー・遙盟・ブレイズデル、音楽之友社、3,500円
- 『時事新報 第23巻~1 明治三十七年一月 第七二四三~七二七三号』竜溪書舎、25,000円
- 『時事新報 第23巻~2 明治三十七年二月 第七二七四~七三〇二号』竜溪書舎、25,000円
- 『時事新報 第23巻~3 明治三十七年三月 第七三〇三~七三三三号』竜溪書舎、25,000円
- 『時事新報 第23巻~4 明治三十七年四月 第七三三四~七三六三号』竜溪書舎、25,000円
- 『時事新報 第23巻~5 明治三十七年五月 第七三六四~七三九四号』竜溪書舎、25,000円
- 『時事新報 第23巻~6 明治三十七年六月 第七三九五~七四二四号』竜溪書舎、25,000円
- 『ジャズを読む事典』富沢えいち著、日本放送出版協会、900円
- 『正倉院古文書影印集成 15 塵芥文書』宮内庁正倉院事務所編、八木書店、20,000円
- 『志ん生滑稽ばなし』古今亭志ん生著、筑摩書房、880円
- 『新シルクロード遥かなる四千年の旅路(みち)』Comic version、長沢和俊監修、日本放送出版協会
- 『人生を舞う 出会いが人生を豊かにする』安藤美文著、文芸社、1,200円
- 『世界民族モノ図鑑』『月刊みんぱく』編集部編、明石書店、2,800円
- 『太鼓という楽器』小野美枝子、浅野太鼓文化研究所、1,500円
- 『大落語 上』平岡正明著、法政大学出版局、2,300円
- 『大落語 下』平岡正明著、法政大学出版局、2,300円
- 『中央ユーラシアを知る事典』小松久男、梅村坦、宇山智彦、

- 帯谷知可、堀川徹編、平凡社、6,825 円
平凡社ライブラリー530『中・高校生のための狂言入門』山本東次郎著、近藤ようこ著、平凡社、1,260 円
『中国の暮らしと文化を知るための 40 章』東洋文化研究会編、明石書店、2,000 円
『中世賤民と雑芸能の研究 (新装版) 』盛田嘉徳著、雄山閣、5,350 円
『豊竹咲雨大夫と文楽へ行こう』豊竹咲雨大夫著、旬報社、1,800 円
『なつかしのわらべ歌』川原井泰江著、いそつぶ社、1,890 円
『二代目市川団十郎 役者の氏神』田口章子著、ミネルヴァ書房、2,400 円
『日本音楽がわかる本』千葉優子著、1,995 円
『日本の民俗芸能調査報告書集成 4 関東地方の民俗芸能』三隅治雄編集委員、海路書院、30,000 円
『日本の民俗芸能調査報告書集成 5 関東地方の民俗芸能』三隅治雄編集委員、海路書院、28,000 円
『日本の民俗芸能調査報告書集成 6 関東地方の民俗芸能』三隅治雄編集委員、海路書院、28,000 円
『日本の民俗芸能調査報告書集成 7 関東地方の民俗芸能』三隅治雄編集委員、海路書院、28,000 円
『白山信仰と能面』曾我孝司著、雄山閣、2,730 円
『八丈島古謡 奥山熊雄の歌と太鼓』奥山熊雄共編、笠間書院、1,800 円
『批評という鏡』渡辺保、マガジンハウス、2,415 円
『びんぼう自慢』古今亭志ん生 (5 代目) 小島貞二著、筑摩書房、924 円
『フォークリヴァイヴァル 伝統音楽復興』横井雅子著、2,200 円
『風姿花伝 現代語訳』世阿弥著、水野聡訳、PHP エディターズ・グループ、998 円
『ふたりの音楽』波多野睦美著、音楽之友社、2,000 円
『文化人類学文献事典』小松和彦ほか編集委員、弘文堂、20,000 円
『平安朝漢文学論考』後藤昭雄著、勉誠出版、5,600 円
『平安朝の雅楽 古楽譜による唐楽曲の楽理的研究』遠藤徹著、東京堂出版、16,800 円
『邦楽ってどんなもの 楽器編』星野栄志著、演劇出版社出版事業部、2,381 円
『ポピュラー音楽の誕生 進駐軍クラブから歌謡曲へ』東谷護著、みすず書房、2,940 円
『都新聞 大正 8 年 7 月 第 11302 号 ~ 第 11333 号』中日新聞社監修、柏書房、41,667 円
『都新聞 大正 8 年 8 月 第 11334 号 ~ 第 11360 号』中日新聞社監修、柏書房、41,667 円
『都新聞 大正 8 年 9 月 第 11361 号 ~ 第 11390 号』中日新聞社監修、柏書房、41,667 円
『都新聞 大正 8 年 10 月 第 11391 号 ~ 第 11421 号』中日新聞社監修、柏書房、41,667 円
『都新聞 大正 8 年 11 月 第 11422 号 ~ 第 11451 号』中日新聞社監修、柏書房、41,667 円
『都新聞 大正 8 年 12 月 第 11452 号 ~ 第 11481 号』中日新聞社監修、柏書房、41,665 円
『明治の音』内藤高著、中央公論新社、819 円
『柳田国男全集 33 昭和 30 年 ~ 昭和 37 年』柳田国男著、筑摩書房、8,800 円
『柳田民俗学の継承と発展 その視点と方法』新谷尚紀著、吉川弘文館、12,000 円
『大和猿楽史参究』表章著、岩波書店、12,600 円
季刊考古学 第 86 号『弥生時代の祭り』禰田佳男編、雄山閣、2,310 円
ぴあMOOK『落語ワンダーランド』ぴあ編、ぴあ、2,415 円
『洋楽渡来考 キリシタン音楽の栄光と挫折』皆川達夫著、日本キリスト教団出版局、18,000 円
『琉球の死後の世界 沖縄その不思議な世界』崎原恒新著、むぎ社、1800 円
『琉球・沖縄史研究序説』続山下重一著、御茶の水書房、4,200 円
街道の日本史 56『琉球・沖縄と海上の道』豊見山和行・高良倉吉編、吉川弘文館、2,730 円
『レコードはまっすぐに あるプロデューサーの回想』ジョン・カルシヨ著、山崎浩太郎訳、学研、3,780 円
『笑いの力』河合隼雄、養老孟司、筒井康隆著、岩波書店、1,365 円
『笑う門にはチンドン屋』安達ひでや著、石風社、1,500 円
『浄瑠璃素人講釈 下』杉山茂丸著、岩波書店、798 円
『散所・声聞師・舞々の研究』世界人権問題研究センター編、世界人権問題研究センター、8,610 円
- ### 新発売視聴覚資料
- C D
『虚無僧尺八の世界 ~ 北陸の尺八 三谷』中村明一、ピクチャー伝統文化振興財団、C0184、3,150 円
『風の伝説 Ritual of the Wind』赤尾三千子作曲・演奏、コジマ録音、C9038、3,059 円

- 『澤田隆治が選んだ松鶴家光晴・浮世亭夢若 ベスト漫才集』 参 事：青柳万紀子、金光真理子、佐藤文香、
COCJ-33134、2,000円 新堀敏乃、前島美保
- 『世紀「樂」典』CWJ-002、42,000円 CD全20枚 208曲+解
説書 カートンボックス入り直輸入仕様
<http://homepage3.nifty.com/ytt/world/w7.html>
VHS
- 『VHS版映像民族学シリーズ「日本の姿」第2期3巻、セッ
ト価45,000円(各巻15,000円)
<http://www31.ocn.ne.jp/~minneiken/event/new.html>
- 『歌舞伎名作撰』VNN501、16巻、63,840円(各巻3,990円)
DVD
- 『歌舞伎名作撰』DNN501、16巻、63,840円(各巻3,990円)
- 『尺八が絶対鳴る教則』菅原久仁義監修・演奏、企画工房パ
セリ、K9001、4,800円
- 『十一代目市川海老蔵襲名披露バリ公演』松竹株式会社、市
川團十郎事務所、8,400円
- 『十八代目中村勘三郎襲名記念 DVD-BOX「勘九郎箱」』松竹
(株)ビデオ事業室、東宝(株) 37,800円
http://www.kanzaburo-dvd.info/htmls/dvd_top.html
CD-ROM
- 『ご存じ 古今東西噺家紳士録』APP APP-001、13,440円

訂正のお知らせ

63号の3ページ27行に誤植がありました。「朱譜では五声」は「朱譜では七声」です。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

編集後記

本号は、移転した新事務所からの発行です。新事務所の連絡先を冒頭ページ上部および関連記事に紹介しておりますので、ご覧下さい。

北海道での初めての大会が行われることになりました。関連記事をお読みいただき、ふるってご参加いただきたいと思います。

次号は、9月10日頃にお届けいたします。

会報編集委員会

理事：高桑いづみ、小塩さとみ、野川美穂子

委嘱委員：丹羽幸江、松村智郁子